
「薬剤性顎骨壊死の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で薬剤が原因で生じた顎骨壊死について以下の研究を実施いたします。
本研究は、【総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2024年7月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター・外来化学療法センターをがん化学療法で受診し、骨転移の治療薬剤(ビスホスホネート製剤又はデノスマブ)を使用した患者さん。

2. 研究の目的

顎骨壊死患者の現状を把握と、今後の顎骨壊死発症の低下に役立てる目的で外来化学療法センターをがん化学療法のために受診し、骨粗鬆症治療薬の投与を受けた患者さんの顎骨壊死出現に係る実態を調査することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年9月5日開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

1:年齢、2:性別、3:がんの部位・分類、4:既往歴、5:内服薬、6:化学療法の種類(薬剤)、7:骨粗鬆症治療薬の使用歴、8:顎骨壊死の有無と経過、9:歯科受診の有無と歯科受診に至る経路、10:口腔内診査、11:顎骨壊死(発生時期・部位・症状の詳細)、12:顎骨壊死の分類を診療録使用し、後方視的に調査検討します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である飯島洋介が、管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

周術期口腔ケア介入や歯科治療介入した患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 講師 飯島洋介
総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 助教 高橋匠
総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 助教 山田美喜
総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 准教授 日野峻輔
総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 教授 金子貴広
総合医療センター歯科口腔外科 歯科医師 客員教授 堀江憲夫
総合医療センター薬剤部 薬剤師 非常勤薬剤師 佐野元彦

4. 試料・情報の管理責任者

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 飯島洋介

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3687（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：薬剤性顎骨壊死の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 飯島洋介